

研修セットについて

1. 制作の背景

令和3年度京都府教育委員会現職教育職員長期研修「幼児教育」分野で研修に出させて頂き、1年間京都教育大学や幼稚園・保育園の現場や小学校現場で幼児教育についての学びを深めました。この1年間、大変多くの貴重な学びをさせて頂きましたが、その中でも特に重要だと感じた部分の情報共有が少しでもできたらと考え制作したのがこの研修セットです。

幼児教育施設から小学校へと、一人一人の育ちや学びが確実に引き継がれることが重要であるが、異なる二つの教育の中で子どもの育ちや学びをつなぐことは容易ではありません。

特に、「遊び＝学び」である幼児教育に対して、小学校では「遊び＝休み時間」と捉えられがちで、遊びの中の育ちや学びを捉えるということは小学校教員にとって経験が少なく難しいことです。そんな二つの異なる教育をつなぐために、共通の視点として「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）の活用が望まれます。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、決して幼児期の達成目標ではなく、小学校が引き継いでいく子どもの育ちでもあります。この「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通の視点として用いながら、子どもの育ちや学びが引き継がれることが重要課題となっています。しかし、地域によっては「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解がまだまだ進んでいない状況もあります。

今年度、幼小接続に関する研修会の講師を務める機会を頂きました。その際には、この「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解を進めるだけでなく、今後の実践へと繋げて頂けるような内容となるように考えました。その際に使用したのがこの「研修セット」です。

各園校や地域での研修にご活用頂くなど、今後益々保幼小連携・接続を推進していく際の一助となれば幸いです。

2. 研修セットの活用方法

①「研修資料」は研修の流れや内容を把握する際にご活用下さい。

②「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（10の姿）の理解を進めるために

- ・10の姿（解説）シートの配布
- ・動画「写真で見る！幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視聴

③演習（実際の子どもの姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に見取る）

- ・ワークシート（中心に見取る場面の写真を入れてご活用下さい。）
- ・見取る子どもの姿（保育参観・授業参観の機会又は動画をご準備下さい。）

④見取りを交流

※幼児教育の立場の先生と小学校教育の立場の先生で共に見取り、その見取りを交流することができたら、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の理解を進めるだけでなく、互いの教育の理解を進めることにも繋がります。

また、「幼児教育現場の子どもの姿」だけでなく、「小学校の子どもの姿」もこの視点で見取ることでより充実した研修となりました。可能な範囲で行って頂けたら幸いです。